

事故事例

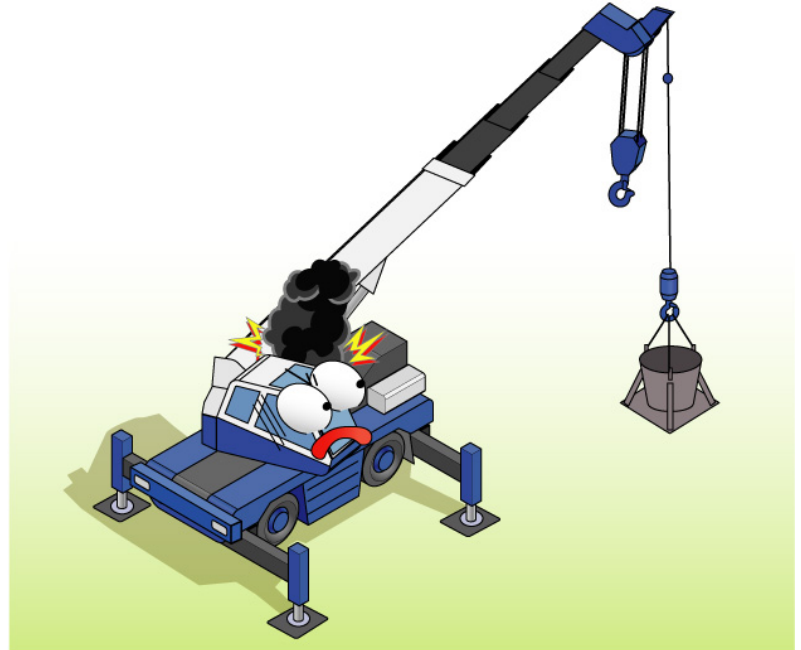
経年使用のクレーン車による配線焼損事故

全般

事故発生状況

クレーン作業中、車体中央部付近より煙が出てきた。

- ・上部電源用の配線がクランプ部でショートしていた。
- ・関係するヒューズが切れていた。
- ・ショート箇所より下流の配線がグリスや埃で汚れて燃えていた。



原因

振動や経年劣化により配線が損傷し、ショートした際に、堆積したグリスや埃に引火したものと考えられる。

対策

電気配線の定期点検を実施する

- ・電気配線の点検は3ヶ月毎の法定点検です。3ヶ月毎に必ず点検を実施してください。
- ・配線にグリスや埃等が堆積している場合は、清掃(除去)してください。
- ・接続部(コネクタ)の緩みや、クランプ固定部、接触部(ボディ等)に損傷が無いことを確認してください。

異常を発見した場合は、直ちにタダノ指定サービス工場で点検・修理を受けてください。